

仙台の嶺岸さん、CD自主制作

応援ソングで 石巻復興願う

東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻市の復興を願う、仙台市宮城野区



被災地への思いを込めたCDを手にする嶺岸さん

が、自作の応援ソング「石巻から明日へ」を収録したCDを自主制作した。

「曲を聴いて、少しでも元気になってもらいたい」と話す。

仙台で生まれ育った嶺岸さんは、叔母が暮らす石巻に幼少期から通い、慣れ親しんだ。しかし、記憶にあった風景は震災で一変し、叔母の家も津波に浸った。

被災地のため、自分に何かできないか。高校卒業後10年ほどカーレーサーをし、現在は探偵業の嶺岸さん。5年ほど前から本業の傍ら仲間と音楽活動に取り組んできたことから、応援ソングの

「懸命に生きる姿に共感」

制作を思い立った。

「石巻から明日へ」は、再生を願うメッセージと伸びやかなメロディーが印象的。「生きてゆこういしのまきで、キミが生まれたこの街で、想い出そう描いた夢、海が見えるあの丘で」。仲間の伴奏やバックコーラスが歌を引き立てる。

嶺岸さんは「震災後、電気も水も食料もない中で懸命に生き抜こうとする人々の姿に胸を打たれた。いつか必ず、にぎわう街や美しい風景を取り戻してほしい」と話す。

CDは前奏曲、カラオケバージョンを含め3曲入り。1,000円。仙台市青葉区大町のライブバー「唄屋」などで販売中。連絡先は嶺岸さん070(5475)3320。